

YMCA健康福祉専門学校

健康福祉ニュース

What's New!

- ・ ボランティア活動に
参加しました
- ・ 専門学校体育大会の
ご報告

「怒り」を覚える

「いじめられた友人を守れなかった」と遺書を残し、今年6月に川崎市の中学生在が自殺しました。今月4日に発表された最終報告書によると、「生徒が遺書で実名を挙げた4人による生徒と友人へのいじめを認定した」とあります。学校は、同級生や保護者からの指摘を受けてもいじめを見抜けず、報告体制や教員側の対応なども含めて「学校全体がいじめ状態にあった」とまとめられ



ていました。何ということでしょうか。『怒り』を覚えます。日頃から生徒たちに接している先生が「気づかない」なんて…。「見て見ぬふり」は気づいていながら何もしないことです。「見て見ぬふり」と「見抜けなかった」ということとは違います。その事実を調査委員会も重く受け止めて、教員側の対応なども含めて「学校全体がいじめ状態にあった」と結論づけたのでしょうか。学校は「いじめの事実」を認めず、改善への取り組みもしないままに放置していたのです。昨年5月ごろから今年3月まで、友人、生徒に対する4人のいじめは続いていたそうです。背中をたたく、頭をはたく、肩を殴る、馬乗りになる、ズボンや下着を下ろすなど、その行為は誰が見ても「いじめ」です。自殺した生徒だけではなく、周囲の生徒たちの心理的状況は、困っている友人を助けたいという「目標」と、それができなかった「現実」との間に葛藤(かっとう)があったに違いありません。助けようとする行動によって、次は自分が巻き込まれ、自分がいじめに遭うかも知れない。

先生だっていじめを「見て見ぬふり」する時代、先生がいじめを解決してくれる保証はない。巻き込まれるのが怖い、面倒だ、時間がない…。聖職であるはずの先生たちに失望した生徒たちは、目の前の事態に立ちすくみ、行動できずにいたのです。正義感や連帯感も著しく劣化してしまった学校で生徒たちは苦しんでいたのです。いじめっ子が支配する教室で、次のターゲットになる恐怖から、「見て見ぬふり」をしたクラスメートも、自分は被害者だと思っています。もしかしたら生徒たちにとっては、先生も加害者だったかも知れません。助けたくても「見て見ぬふり」をすることは、自分自身の弱さを認めることになりますから、その場にいた生徒たちも辛かったことでしょう。

私たちの中にも何もなかった自分に今でも苦しんでいる人も多いと思います。「見て見ぬふり」をやめて、思い切って行動した時、周囲が賛同してくれる、応援してくれると信じることができたなら、「見て見ぬふり」せずに「やめろ!」と言えるかも知れません。だって私たちは、誰かの命にかかわることや、社会を変えて行けば救える命がある時には「見て見ぬふり」をしていません。その原動力は、社会の理不尽さに対する「怒り」なのかも知れません。弱い相手には「怒り」、強い相手の前では「見て見ぬふり」…そういう人が増えています。「見て見ぬふり」をしないためにも「怒り」を忘れないようにしたいですね。そして怒りを感じられるようになるためにも、多くの情報や知識を持ちたいですね。「社会が悪い」ことにしておけば、自分で考えることもしないし、責任を取る必要もありません。その結果、自分自身をみつめることも、反省することもありません。それでは、人としてあまりにも悲し過ぎますからね。ご冥福をお祈りします。

YMCA健康福祉専門学校
校長 小林 一郎



弱視体験
透かしてみたら見えるかな…

見えない世界の可能性！

7月10日、介護福祉科2年生は生活支援技術・視覚の授業の一環で公開講座に参加しました。実際に視覚障がいのある人への対応や注意などを当事者から伺うことで授業で勉強したことを深めることができました。また、点字や弱視体験、盲導犬への指示出しなども体験しました。セミナーに参加した介護福祉科2年中村さんの感想です。
「視覚障害者の生活支援を行う上で、障がい者の視点に立って支援を行うことが大切だと思います。視覚以上の五感を活用し、障がい者の方が想像しやすい、イメージしやすい説明と声かけを意識して支援していくことが必要だと思います。ま

た、見える世界が広いのと同様に、見えない世界も広く、想像に満ちあふれた世界であり、可能性も無限であるのではないかと思います。支援を行う人がそのことを理解し、一緒に過ごす時間をより楽しい時間にしていく視点が大切だと思います。」

触覚とはまさしく全身で感じる。手と頭を駆使する人間ならではの知的作用です。支援者として共有していきたいですね。



最後にみんなで記念撮影
サッカーもゲームもずっと笑顔の子どもたち

保育＋スポーツ＋異文化交流＝YMCA！

厚木市には県内唯一のブラジル人学校があり、30数名の子どもたちが、ポルトガル語(母語)での小学校の勉強と日本語を勉強しています。今回、このブラジル人学校「エスコラ・アクアレラ・ブラジル」と一緒に、サッカープログラムに挑戦しています。子どもたちは身体を動かすことはあってもスポーツに取り組むことが少ないということで、福祉スポーツコース2年生を中心に子どもたちと仲良くなりながらサッカーを楽しむことになりました。はじめてYMCAに来た子どもたちは、最初は緊張した顔でしたが、広い体育館と

サッカーボールを見つけるとすぐに『笑顔』。学生たちの企画したゲームやサッカー練習も、カタコトの日本語と、めちゃくちゃなポルトガル語での交流も楽しんでくれました。サッカーの後はお弁当を食べながら「次はいつ会えるの?」。保育、スポーツ指導を学ぶ学生たちの異文化交流も大成功でした。



利用者さん誘導中の山田さん。

夏は実習の季節

夏休み＝実習期間。学生はそれぞれ現場実習に取り組んでいます。健康福祉科(現こども総合科)3年生は10日間の施設実習、12日間の幼稚園実習です。保育士資格取得に「施設実習」が必要なことを知っていますか？保育所で行われる「保育実習」とは異なり、児童養護施設や障害児・者施設で行います。子どもの施設ではないこともあります。しかし保育園では障がいのある子どもも受け入れなければなりません。子どもには平等に保育を受ける権利がありますからね。障がいの理解という意味でも、とても大切な実習です。こども総合科の倉見裕子先

生からのメッセージです。「保育士資格にとっても最終段階、そして人間福祉コースには社会福祉士資格取得のための総まとめにも当たる実習。学生もしっかり取り組んでいます。実習先では、利用者さんや子どもたちに対して何でもしてあげなくちゃ、少しなら自分も我慢なくちゃ、と思いがちだけどそれはだめ。できないこと、不快と思うことは施設の人たちと確認しながら解決していきます。働く側にも人権があることを忘れてはいけません。」施設の人たちとコミュニケーションを大切に、良い実習してほしいです。

PHOTO TOPICS 専門学校体育大会でがんばりました！



女子バスケットボール部



サッカー部



ボウリング

女子バスケットボール部は、準決勝、3位決定戦と惜敗が続き4位となりました。1年生のすばらしい活躍もあったので、来年に期待です！
サッカー部は、リーグ戦1勝1敗1分けでしたが決勝トーナメントへ出場しました。今年も2年生の保育実習の開始と重なり、たくさんのクラスメイトに支えられて試合を持つことができました。
ボウリングは女子個人優勝、団体準優勝でした！



「みりんコンサート物語」でボランティア



8月27日、厚木市文化会館大ホールで“みる”コンサート物語が開催されました。
「“みる”コンサート物語」は、カラフルな影絵と、ピアノトリオの生演奏、そして手話を組み合わせた幻想的なコンサートで、子どもからお年寄りまで、また、障がいのある方も楽しめるような配慮をしたバリアフリーコンサートになっています。
暑さの厳しい日でしたが、会場30分前から早くも長蛇の列。ボランティアの学生たちも入場整理や会場でのドア係、場内の空席誘導などそれぞれの持ち場でしっかりと役割を果たしていました。
お疲れさまでした！



まずは打ち合わせから開始。自分の役割を確認。



ただ立っているんじゃないんです。誰もが通れるよう押えているんです！



座席誘導係。実行委員の方と保育園児用席の確認。



影絵で見る「100万回生きたねこ」

YMCA健康福祉専門学校 2010年度のカレッジ・イン

YMCA健康福祉専門学校では、年間を通して体験入学(カレッジ・イン)を実施しています。毎回、午前と午後の2回開催します(9:30～/14:00～)。

専門職の先生や在校生に気になることを何でも聞いてみよう!

9月11日(土)	9月25日(土)	10月9日(土)	10月23日(土)
11月6日(土)	11月20日(土)	12月11日(土)	12月18日(土)
1月8日(土)	1月22日(土)	2月12日(土)	2月26日(土)
3月5日(土)	3月19日(土)	3月26日(土)	
午前と午後の2回開催!			



●●カレッジ・イン推薦で受験ができる●●

カレッジ・インでYMCAのこと、学校・学科のことを理解してもらえたかどうか、そして参加した皆さんの夢がYMCAでかなえられるかどうかを確認します。その結果「カレッジ・イン参加証」が発行されます。この参加証をもって、入学試験において「カレッジ・イン推薦入試」を受験することができます。カレッジ・イン推薦入試はなんと書類選考のみでの受験が可能になります。



AO入試エントリー・願書受付中!



YMCA健康福祉専門学校

こども総合科
福祉スポーツコース
人間福祉コース
こども支援コース
介護福祉科

〒243-0018
厚木市中町4-16-19

電話 046-223-1441
FAX 046-223-2101
Email: ymkenko@yokohama-ymca.or.jp
HP: <http://yokohamaymca.ac.jp/health>



小田急線本厚木駅から徒歩5分
本厚木駅周辺にはミロードをはじめたくさんのお店もあり便利です。有名ラーメン店もありますよ!

社会福祉士・介護福祉士をめざすなら!!
<http://yokohamaymca.ac.jp/health/>

Believe in your dreams!

～夢をカタチにする～

YMCAではさまざまな活動を通して次のことを学びます。

- 「自分のいのちとみんなのいのちを大切にすること」
- 「家族、地域のひとりひとりとして責任があること」
- 「世界と地球を見つめ、考え、行動すること」
- 「ボランティア精神とリーダーシップを身につけること」
- 「すこやかな心と体を育むこと」

そしてこれらを実現するために、次のことを大切にします。

- 「Caring(思いやり)」「Honesty(誠実さ)」
- 「Responsibility(責任感)」「Respect(尊敬心)」

YMCA健康福祉専門学校では、カリキュラムや学校行事を通じて4つの大切な価値を意識する機会を取り入れています。将来、福祉・保育・スポーツの現場で活躍する学生のみなさんに、他者への思いやりの心を持ち、相手を敬い、自分の行動に責任を持ち、誠実に取り組んでいく専門職になってほしいと願っています。